



RI会長 レイ・クリンギンスミス

第2790地区ガバナー

織田 吉郎

第5分区ガバナー補佐

佐野 昭雄

第5分区幹事

鈴木 照夫

第2790地区地区委員

広報委員会

勝浦RC

千葉 正徳

環境委員会

館山RC

吉田 政紀

R財団寄付金小委員会

鴨川RC

伊藤 正人

勝浦ロータリークラブ

会長

関 一憲

幹事

中村 満

クラブ会報委員長

渡邊 ヒロ子

副委員長

渡邊 昌俊

委員

牧野 利美

前田 安彦

関 正夫

斎藤 麻美子

### 9月10日(金)のプログラム

・ゲスト卓話

【遠見岬神社 小林悠紀氏】

9月17日(金)は祭礼のため休会

### 本日(9/24)のプログラム

・ガバナー補佐訪問

・クラブ協議会

### 10月の例会プログラム

1日(金)職業奉仕

8日(金)ゲスト卓話

15日(金)クラブ協議会

22日(金)ガバナー公式訪問

## 会長挨拶 関一憲会長

今月は、「新世代のための月間」でございます。しかし、日本の家族構造も大きく変わってきているようです。最近ではファミレスモデルがビジネスとして崩壊してきました。なぜならば、日本からファミリーが消えてきているからです。皆さんのイメージしている「家族」を構成している割合が激減しており、一人暮らしの割合が大きくなっています。昨年末内閣府が発表した世論調査では「結婚は個人の自由だから、結婚してもしなくてもどちらでもよい」と言う人は全体の7割でした。「結婚しても必ずしも子供を持つ必要はない」と言う人は4割でした。世代別では「結婚してもしなくてもどちらでもよい」に賛成した人は9割近く、「必ずしも子供を持つ必要はない」に賛成した人は6割を超えています。日本の少子化や晩婚化はますます加速するでしょう。社会全体で、結婚する、子育てをする、そのような環境を整えることが必要です。新たな新世代を生み出すために・・・



## 幹事報告 中村満幹事

地区大会の参加登録をお願いします。

ロータリーアン芸術祭作品展の締切日は9月30日まで。

9月24日はガバナー補佐公式訪問です。



## 委員会報告

### クラブ奉仕( )関正巳担当理事

千葉夢半島千葉国体の馬術競技に出場する179頭の馬に、1トンのにんじんをプレゼントしようと、みなさんから寄付金6万2000円集まりましたが、猛暑でにんじんが非常に高騰してしまい、1トンのにんじん代には程遠くなってしまいました。そこで、理事会でもう一度寄付を募ろうということになり、この大きい箱を用意しました。強制ではありませんが、できるだけたくさんのご協力をいただきたいと思います。よろしくをお願いします。



### 親睦委員会 中村昇委員長

一泊例会の件ですが、11月の14~15日に決定いたしました。行き先は伊東のハーヴェストクラブでございますので、できるだけ多くの方のご参加をお願いいたします。



### ニコニコBOX(中村昇 親睦委員長)

#### 本人誕生日(9月17日) 高梨薫敏 君

今年は記録尽くめの暑さでしたが、何とか乗り切れました。



**ニコニコBOX (中村昇 親睦委員長)**

**配偶者誕生日 西川佳璋 君**

妻の誕生日ということでプレゼント頂き、ありがとうございます。今日は私のお隣さん遠見崎神社、小林氏が講演をしてくださるということでございますので、皆様方しっかりお聞きいただいて勝浦の歴史を学んで頂きたいと思ひます。



**結婚記念日 高橋奈緒美 君**

日々ラブラブです。働き者の主人には、いつまでも長生きして欲しいと思っております。



**自主申告 関正巳 君**

10日で丸6年、来年は大役がありますのでこれからも益々頑張りたいと思ひます。



**自主申告 池田哲夫 君**

8月22日に行われた勝浦RCゴルフコンペで、天気とメンバーに恵まれ、優勝いたしました。ありがとうございました。



**ゲスト卓話**

**紹介：プログラム委員会 渡辺幸男委員長**

遠見岬神社の小林権禰宜をご紹介します。小林氏は、本業はもちろん、子供達のためのキャンプを企画したりと、幅広く活躍されております。今日は遠見岬神社のこと、神道のこと、などお話しいただきます。

**卓話者：遠見岬神社 小林悠紀氏**

遠見岬神社で神明奉仕をしております小林でございます。当社の御祭神である天富命(あめのとみのみこと)が勝浦に鎮座して以来、先祖代々神職をしております。



まず、遠見岬神社についてですが、当社がお祀りしている神様、天富命という方は、大和朝廷の時代に国家の祭祀を担当していた、古代豪族・忌部氏のリーダーで、初代天皇である神武天皇の重臣として活躍された人物です。

この忌部氏というのは、天太玉命(あめのふとだまのみこと)を祖先とする、穢れを忌み、神事などに奉仕する職業集団で、古来より宮廷祭祀における祭具の製造や、神殿・宮殿の造営に関わってきたという一族です。

古代の日本は祭政一致を特色としており、祭祀を掌っていたのが、忌部氏の祖先である天太玉命と、藤原氏の祖先である天兒屋根命(あめのこやねのみこと)です。

具体的には、天兒屋根命が祝詞を担当し、天太玉命が神に奉る幣帛(ぬさ・神前に供える物の総称で、最も重要な取り扱いをすべきもの)の調達を担当しました。天太玉命は農業、工業、建築等の産業全体の総元締めでした。そして当社の御祭神である天富命は、この天太玉命の孫とされる方です。この方は実在した人物であり、房総開拓という偉大な功績を残したので、亡くなった後にその子孫たちに祀られました。

天富命は、神武天皇の命令を受け、阿波(現在の徳島県)に移住して、阿波の忌部一族に麻の栽培をさせました。

阿波の開拓を終えた後、天富命は東国により良い土地を求めて、天日鷲命を祖先とする阿波に住む忌部一族を率いて、海路を黒潮に乗り紀伊を経て、房総半島南端の布良の浜に上陸し、祖神である天太玉命の社を建て(現在の安房神社)

麻や穀(かじ)を植えながら開拓を進められました。麻がよく育ったところを総(ふさ)の国(後の上総・下総)、穀がよく育ったところを結城郡(現在の



写真は安房神社  
房総開拓の神『天富命』と書いてある

茨城県結城市)と名付け、阿波忌部の住んだ所は安房国と呼ばれました。

遠見岬神社の社伝によりますと、その後天富命を始めとした忌部一族は、さらに北上し清澄山に登り長狭を平定、その後この勝浦においでになり、遠見岬(現在の八幡岬突端)に住まれ、先住民に農業・漁業・建築等を教えたとされています。天富命がお隠れになった後、天富命の功績を称え、阿波忌部の祖・天日鷲命(あめのひわしのみこと)の後裔である、勝占の忌部須須立命という人物が、天富命の居跡に社を建て、開拓の祖神として天富命の御神霊をお祀りしたのが遠見岬神社の始まりです。この須須立命が初代の遠見岬神社の神職で、勝占忌部一族が住んだ地なので、この地は勝占(現在の勝浦)と呼ばれるようになったと伝えられています。

徳島と紀州に『勝浦』という地名があるのは、天富命と共に房総へ渡ってきた勝占忌部の軌跡です。

氏神というのは、同じ地域に住む人々が共同で祀る神様のことで、元々はその地域の豪族である古代の氏族組織である氏が、祖神または守護神として祀っていた神様のことです。古代の豪族達は、みな移転地に自分達の氏神を祀ったので、同じ地名があったら、地名と神社にお祀りされている神様の分布を見ると、その一族の軌跡が分かることが多いです。

氏	中臣(藤原)氏	天兒屋根命	春日神社
神	物部氏	宇摩志麻治命	石上神宮
の	大伴氏	天忍日命	大伴神社
例	忌部氏	天太玉命	安房神社

父母は2人、祖父母で4人、曾祖父母8人、高祖父母16人というように代を遡っていくと、10代遡れば1028人、20代遡れば約100万人、30代遡れば約10億人、これをすべて合わせると約20億人の血縁のご先祖様がいたこととなります。

これを繰り返し

ていくと...

我々には莫大な数のご先祖様が

いるわけで、

結局皆さんは、

どこかで血縁が

ある親戚と言え

ますね。つまり

今日この場に

いる皆さんの

多くにも、神話

の時代に黒潮に

乗ってこの房総

にやってきた、

現在25歳	自分	1人
現在50歳	父母	2人
現在75歳	祖父母	4人
100年前	祖祖父母	8人
125年前	4代前	16人
150年前	5代前	32人
175年前	6代前	64人
200年前	7代前	128人
225年前	8代前	256人
250年前	9代前	512人
275年前	10代前	1,024人
300年前	11代前	2,048人
325年前	12代前	4,096人
350年前	13代前	8,192人
375年前	14代前	16,384人
400年前	15代前	32,768人
425年前	16代前	65,536人
450年前	17代前	131,072人
475年前	18代前	262,144人
500年前	19代前	524,288人
525年前	20代前	1,048,576人
550年前	21代前	2,097,152人
575年前	22代前	4,194,304人
600年前	23代前	8,388,608人
625年前	24代前	16,777,216人
650年前	25代前	33,554,432人
675年前	26代前	67,108,864人
700年前	27代前	134,217,728人
725年前	28代前	268,435,456人
750年前	29代前	536,870,912人
775年前	30代前	1,073,741,824人
	合計	2,147,483,846人

開拓スピリッツあふれる、忌部一族の血が流れているんです。

今を生きる私たちの使命は神様から続く「いのち」のバトンを後世に繋ぐことなんですね。



遠見岬神社の話に戻りますが.....

その後、慶長6年(1601年)に津波により社殿が決壊し、社宝の多くを流失しました。御神体と決壊した御社殿は尊磯の浜に流れ着き、一時宮谷に祀られ、萬治2年(1659年)当時の勝浦城主植村土佐守泰忠公により現在の地に遷座され、旧社地はその後、元禄16年(1703年)の大地震により海没し、現在は岬の一部が島として残されているのみです。



現社殿は嘉永2年(1849)造営



向拝竜

彫物の完成は

拝殿の向拝竜が元治元年(1864)

拝殿廻り・本殿廻りの頭貫には

四代伊八信明の作が観られる

誰もが豊かになれる人間関係を目指す、という神道の精神で、神道家として地域へ貢献できればと考えております。



出席報告 9月10日(金)出席委員会(関祐介委員長)

会員	出席	MU	欠席	出席率
43名	32名	4名	7名	83.72%

欠席者：浅野玄航 内田秀実 斎藤麻美子  
村石愛二 本吉幸子 吉野裕子 渡辺 保